

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・重度・重複学級・1グループ		担当者名	○梶原 朝子
教科・領域名		外国語			
ね ら い		(1)アルファベットや英単語に触れ、外国語に親しむ。 (2)身近な物の英単語を見聞きし、実生活で活かせるようにする。 (3)外国の文化に触れ、異なる言語や世界への関心を深める。			
曜日・校時・時間		火曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		1年C組教室			
年間授業時数		33.0 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	・アルファベットを知ろう	3	○アルファベットを知り、日常で使われているアルファベットの読み書きをする。 □アルファベットの歌を聴いたり、一緒に歌ったりする。(主体的に学習に取り組む態度) □学校内のアルファベットを見付け発表する。(知識・技能)		・アルファベット学習アプリを用いる。 ・聴き取りが難しい生徒には、絵カードやブロックなどで示し、マッチングできるようにする。
5		3			
6	・数字を英語で言う	5	○数字の英語での表現を知る。 □1～10までの数字の歌を聴いたり、リズムをとったり、英語を発音したりする。 (主体的に学習に取り組む態度)		・楽しみながら数字を覚えられるよう、歌やミニビンゴなどを取り入れる。
7	・今日の天気は？	2	○天気英語での表現を知る。 □英単語を聴いて、単語に合う絵カードを選択する。(知識・技能) □天気の歌を聴いたり、英語を発音したりする。(主体的に学習に取り組む態度)		・英語の音に慣れ親しめるよう、歌を取り入れる。 ・分かりやすいイラストの絵カードを用いる。
9	・季節を知ろう	3	○季節の英語での表現や、四季に関わる言葉を知る。 □各季節に関係する絵カードや画像を見て、英単語を聴いたり発音したりする。 (知識・技能)		・各季節に関連する事柄の絵カードを準備する。
10	・ハロウィンの文化	3	○ハロウィンに関連する単語に親しむ。 □絵カードを見て、ハロウィンに登場する物の名前を聴いたり、発音したりする。 (思考・判断・表現)		・ドラキュラやカボチャなど、比較的日本でもなじみのある人物が登場するストーリーを扱う。
11	・秋の歌	3	○秋に関わる歌を通し、英語の音に親しむ。 □英語で四季の歌などを聴き、歌の中で聞こえた英単語を答える。(思考・判断・表現) □歌を英語と一緒に歌う。(主体的に学習に取り組む態度)		・注目する英単語の出てくる部分を繰り返し再生する。 ・歌で使われる単語をまとめたスライドを準備する。
12	・海外の文化	3	○海外の冬の歌をととして、英語のリズムや音に触れる。 □冬の歌を聴いたり、動画を見たりする。(主体的に学習に取り組む態度) □聞こえた単語を発音する。(思考・判断・表現)		・聴きなじみのある歌を扱う。 ・海外の子供たちの様子を扱った映像を用いる。
1	・色々な色	2	○色の英語での表現を知る。 □様々な色の英単語を聴いて正しい色を選択したり、英語を発音したりする。 (知識・技能)		・色の絵カードを準備し、はじめは色の名前から始める。その後、身近な果物や動物などを提示し、段階的に学べるようにする。
2		2			
3	・家族の表現	4	○家族を英語でどのように表現するか知る。 □“Baby shark”の歌を聴く。(主体的に学習に取り組む態度) □絵カードや写真を見て、英単語に合う人物を選択をする。(思考・判断・表現)		・様々な家庭の状況に配慮し、自分の家庭のメンバーについて発表することは控える。
備考		通年で天気・日付・簡単な挨拶などを授業のはじめに扱う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・2グループ		担当者名	○梶原 朝子
教科・領域名		外国語			
ね ら い		(1)アルファベットや英単語に触れ、外国語に慣れ親しむ。 (2)身近な物の英単語を見聞きし、自分から進んで表現する。 (3)外国の文化に触れ、異なる言語や世界への関心を深める。			
曜日・校時・時間		火曜日・5時間目・11:40～12:30			
指導場所		1年C組教室			
年間授業時数		33.0 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	・アルファベットを知ろう	3	○アルファベットを知り、日常で使われているアルファベットの読み書きをする。 □アルファベットの歌を聴いたり、一緒に歌ったりする。(主体的に学習に取り組む態度) □学校内のアルファベットを見付け発表する。(知識・技能)	・アルファベット学習アプリを用いる。 ・聴き取りが難しい生徒には、絵カードやブロックなどで示し、マッチングできるようにする。	
5		3			
6	・数字を英語で言うと	5	○数字の英語での表現を知る。 □1～10、20以上のきりのいい数を英語で発音する。(主体的に学習に取り組む態度) □1～10までの数字を聴き、正しく数を答える。(思考・判断・表現)	・楽しみながら数字を覚えられるよう、ミニビンゴなどを取り入れる。	
7	・今日の天気は？	2	○天気の英語での表現を知り、対話をする。 □英単語を聴いて、単語に合う絵カードを選択する。(知識・技能) □定型文を用いて、今日の天気を答える。(思考・判断・表現)	・様々な天気を答えられるよう、異なる天気の設定を複数用意する。	
9	・季節を知ろう	3	○季節の英語での表現や、四季に関わる言葉を知る。 □各季節に関係する絵カードや画像を見て、英単語を聴いたり発音したりする。(知識・技能)	・イメージをもったり、想像を膨らませたりできるよう四季の映像を見たり、四季に関するイラストを提示する。	
10	・ハロウィンの文化	3	○ハロウィンの文化について理解を深め、ハロウィンに関する英単語を知る。 □海外のハロウィンの動画を見て、日本との共通点や相違点に気付く。(主体的に学習に取り組む態度)(思考・判断・表現) □ハロウィンに関連する英単語を英語で発音する。(知識・技能)	・ハロウィンの時期の海外の子供の様子のビデオや、ハロウィンのコミックストーリーなどの映像を提示する。	
11	・秋の歌	3	○秋に関わる歌を通し、英語の音に親しむ。 □英語で四季の歌などを聴き、歌の中で聞こえた英単語を答える。(思考・判断・表現) □歌を英語と一緒に歌う。(主体的に学習に取り組む態度)	・聴き取りやすいよう、歌の速度を落として再生する。 ・歌の中に出てくる単語をまとめたスライドを準備する。	
12	・海外の文化	3	○海外の行事のビデオを見たり、歌を聴いたりすることで、海外の文化への理解を深める。 □冬の歌を聴いて日本語の歌との共通点や相違点を答える。(思考・判断・表現) □動画を見て気付いたことを発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・聴き取りやすいよう、歌の速度を落として再生する。 ・海外の子供たちの様子を扱った映像を用いる。	
1	・色々な色	2	○色の英語での表現を知る。日本語と英語での表現の違いに気付く。 □様々な色の英単語を聴いて正しい色を選択したり、英語を発音したりする。(知識・技能) □日本語と英語で同じ表現の色・異なる表現の色を見付け、発表する。(思考・判断・表現)	・色々な色の絵カードを準備する。 ・実際に見て分かるように、身近な果物などを題材として扱う。	
2		2			
3	・家族の表現	4	○家族を英語でどのように表現するか知る。 □“Baby shark”の歌を聴く。(主体的に学習に取り組む態度) □歌の中の家族のメンバーを英語で表現する。(思考・判断・表現)	・様々な家庭の状況に配慮し、自分の家庭のメンバーについて発表することは控える。	
備考		通年で天気・日付・簡単な挨拶などを授業のはじめに扱う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・3グループ		担当者名	○梶原 朝子
教科・領域名		外国語			
ね ら い		(1)アルファベットや英単語に触れ、外国語に慣れ親しむ。 (2)身近な物の英単語の読み、書き、リスニングを通して、実生活で使われている英語への理解を深める。 (3)外国の文化に触れ、異なる言語や世界への関心を深めると共に、自ら進んでコミュニケーションをとる姿勢を養う。			
曜日・校時・時間		火曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		1年D組教室			
年間授業時数		33.0 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	・アルファベットを知ろう	3	○アルファベットを知り、日常で使われているアルファベットの読み書きをする。大文字と小文字があることを知る。 □意欲的にアルファベットの歌を聴いたり、一緒に歌ったりしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) □学校の中にあるアルファベットを探し、大文字と小文字に分けて、お互いに発表する。 (知識・技能)(思考・判断・表現)	・リズムに乗ってアルファベットの順番が覚えられるように、歌を取り入れる。 ・体験的に実感できるように、校内を歩き、実生活で使われているアルファベットを探しに行く。	
5		3			
6	・数字を英語で言う	5	○数字の英語での表現を知る。 □1～10、20以上のきりのいい数を英語で発音する。(主体的に学習に取り組む態度) □1～10までの数字を聴き、正しく数を答えたり、書いたりする。(思考・判断・表現)	・楽しみながら数字を覚えられるよう、ミニビンゴなどを取り入れる。	
7	・今日の天気は？	2	○天気英語での表現を知り、対話をする。 □絵カードを見て、英語で答える。(知識・技能) □定型文を用いて、今日の天気をやりとりする。(思考・判断・表現)	・様々な天気を答えられるよう、異なる天気の設定を複数用意する。	
9	・季節を知ろう	3	○季節の英語での表現や、四季に関わる言葉を知る。 □季節や各季節に関係する言葉を考えたり、英語で表現したりする。 (思考・判断・表現)	・イメージをもったり、想像を膨らませたりできるよう四季の映像を見たり、四季に関するイラストを提示する。	
10	・ハロウィンの文化	3	○ハロウィンの文化について理解を深め、ハロウィンに関する英単語を知る。 □海外のハロウィンの動画を見て、日本との共通点や相違点に気付く。 (主体的に学習に取り組む態度)(思考・判断・表現) □ハロウィンに関連する英単語を英語で発音する。(知識・技能)	・ハロウィンの時期の海外の子供の様子のビデオや、ハロウィンのコミックストーリーなどの映像を提示する。	
11	・秋の歌	3	○秋に関わる歌を通し、英語の音に親しむ。 □英語で四季の歌などを聴き、歌の中で聞こえた英単語を答える。(思考・判断・表現) □歌を英語と一緒に歌う。(主体的に学習に取り組む態度)	・聴き取りやすいように、歌を2分の1倍速で再生する。	
12	・海外の文化	3	○海外の行事のビデオを見たり、歌を聴いたりすることで、海外の文化への理解を深める。 □冬の歌を聴いて日本語の歌との共通点や相違点を答える。(思考・判断・表現) □動画を見て気付いたことを発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・聴き取りやすいように、歌を2分の1倍速で再生する。 ・海外の子供たちの様子を扱った映像を用いる。	
1	・色々な色	2	○色の英語での表現を知る。日本語と英語での表現の違いに気付く。 □様々な色の英単語を聴いて正しい色を選択したり、英語を発音したりする。 (知識・技能) □日本語と英語で同じ表現の色・異なる表現の色を見つけ、発表する。 (思考・判断・表現) □校内で色々な色を探し、英語で表現する。(思考・判断・表現)	・色々な色の絵カードを準備する。 ・体験的に理解できるよう、実際に校内を歩いて色を探す活動を取り入れる。	
2		2			
3	・家族の表現	4	○家族を英語でどのように表現するか知る。 □“Baby shark”の歌を聴く。(主体的に学習に取り組む態度) □歌の中の家族のメンバーを英語で表現する。(思考・判断・表現)	・様々な家庭の状況に配慮し、自分の家庭のメンバーについて発表することは控える。	
備考		通年で天気・日付・簡単な挨拶などを授業のはじめに扱う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・4グループ		担当者名	○梶原 朝子
教科・領域名		外国語			
ね ら い		(1)アルファベットや英単語に触れ、外国語に慣れ親しむ。 (2)身近な物の英単語の読み、書き、リスニングを通して、実生活で使われている英語への理解を深める。 (3)外国の文化に触れ、異なる言語や世界への関心を深めると共に、自ら進んでコミュニケーションをとる姿勢を養う。			
曜日・校時・時間		火曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		1年B組教室			
年間授業時数		33.0 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	・アルファベットを知ろう	3	○アルファベットを知り、日常で使われているアルファベットの読み書きをする。大文字と小文字があることを知る。 □意欲的にアルファベットの歌を聴いたり、一緒に歌ったりしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) □学校の中にあるアルファベットを探し、大文字と小文字に分けて、お互いに発表する。 (知識・技能)(思考・判断・表現)	・リズムに乗ってアルファベットの順番が覚えられるように、歌を取り入れる。 ・体験的に実感できるように、校内を歩き、実生活で使われているアルファベットを探しに行く。	
5		3			
6	・数字を英語で言う	5	○数字の英語での表現を知る。 □1～10、20以上のきりのいい数を英語で発音する。(主体的に学習に取り組む態度) □1～10までの数字を聴き、正しく数を答えたり、書いたりする。(思考・判断・表現)	・楽しみながら数字を覚えられるよう、ミニビンゴなどのゲームを取り入れる。	
7	・今日の天気は？	2	○天気の英語での表現を知り、対話をする。 □絵カードを見て、英語で答える。(知識・技能) □定型文を用いて、今日の天気をやりとりする。(思考・判断・表現)	・様々な天気を答えられるよう、異なる天気の設定を複数用意する。	
9	・季節を知ろう	3	○季節の英語での表現や、四季に関わる言葉を知る。 □季節や各季節に関係する言葉を考えたり、英単語で表現したりする。 (思考・判断・表現)	・イメージをもったり、想像を膨らませたりできるよう四季の映像を見たり、四季に関するイラストを提示する。	
10	・ハロウィンの文化	3	○ハロウィンの文化について理解を深め、ハロウィンに関する英単語を知る。 □海外のハロウィンの動画を見て、日本との共通点や相違点に気付く。 (主体的に学習に取り組む態度)(思考・判断・表現) □ハロウィンに関連する英単語を英語で発音する。(知識・技能)	・ハロウィンの時期の海外の子供の様子のビデオや、ハロウィンのコミックストーリーなどの映像を提示する。	
11	・秋の歌	3	○秋に関わる歌を通し、英語の音に親しむ。 □英語で四季の歌などを聴き、歌の中で聞こえた英単語を答える。(思考・判断・表現) □歌を英語で一緒に歌う。(主体的に学習に取り組む態度)	・聴き取りやすいように、歌を2分の1倍速で再生する。	
12	・海外の文化	3	○海外の行事のビデオを見たり、歌を聴いたりすることで、海外の文化への理解を深める。 □冬の歌を聴いて日本語の歌との共通点や相違点を答える。(思考・判断・表現) □動画を見て気付いたことを発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・聴き取りやすいように、歌を2分の1倍速で再生する。 ・海外の子供たちの様子を扱った映像を用いる。	
1	・色々な色	2	○色の英語での表現を知る。日本語と英語での表現の違いに気付く。 □様々な色の英単語を聴いて正しい色を選択したり、英語を発音したりする。 (知識・技能) □日本語と英語で同じ表現の色・異なる表現の色を見つけ、発表する。 (思考・判断・表現) □校内で色々な色を探し、英語で表現する。(思考・判断・表現)	・色々な色の絵カードを準備する。 ・体験的に理解できるように、実際に校内を歩いて色を探す活動を取り入れる。	
2		2			
3	・家族の表現	4	○家族を英語でどのように表現するか知る。 □“Baby shark”の歌を聴く。(主体的に学習に取り組む態度) □歌の中の家族のメンバーを英語で表現する。(思考・判断・表現)	・様々な家庭の状況に配慮し、自分の家庭のメンバーについて発表することは控える。	
備考		通年で天気・日付・簡単な挨拶などを授業のはじめに扱う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・5グループ		担当者名	○梶原 朝子
教科・領域名		外国語			
ね ら い		(1)アルファベットや英単語に触れ、外国語を使う上で必要な素地を養う。 (2)身近な物の英単語を見聞きし、実生活でも表現したり、活用したりする。 (3)外国の文化に触れ、異なる言語や世界への関心を深め、違いを受容する姿勢を育てる。			
曜日・校時・時間		火曜日・3時間目・9:50～10:40			
指導場所		1年E組教室			
年間授業時数		33.0 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	・アルファベットに親しもう(大文字) ・身近な英単語	3	○アルファベットの大文字を正しく理解し、正しい語順に並べたり、書いたりできるようにする。 ○月や曜日・数字などの身近な単語について意味を覚えている。 □大文字の読み書きを練習する。(知識・技能) □基本的な単語の意味やスペルを学習する。(知識・技能)	・アルファベットカードを用いたゲームにより、楽しみながら学べるようにする。 ・アルファベット罫線を用いて書く練習を取り入れる。罫線のどこに合わせるか注目しながら書くよう伝える。 ・一時間に扱う文字数を少なく設定し、着実に学べるようにする。	
5		3			
6	・アルファベットに親しもう(小文字) ・身近な英単語	5	○アルファベットの小文字を正しく理解し、大文字との使い分けができるようになる。 ○食べ物や教科など、日常生活で使う単語を覚え活用できるようになる。 □小文字の読み書きを練習する。(知識・技能) □大文字と小文字の使い分けについて説明を聞き、演習に取り組む。(思考・判断・表現) □身近な単語の意味やスペルを学習する。(知識・技能)	・アルファベットカードを用いたゲームにより、楽しみながら学べるようにする。 ・アルファベット罫線を用いて書く練習を取り入れる。罫線のどこに合わせるか注目しながら書くよう伝える。似ている文字や書き方により違う文字になってしまう物が多いので、それらを重点的に指導する。	
7		2			
9	・世界の国	3	○アルファベットの大文字と小文字を使い分け、正しく国名を書く。世界の国名について知る。 □世界の国名の英語表現を知り、書く練習をする。(知識・技能) □国名が日本語と英語で同じか異なるか考える。(思考・判断・表現)	・なぞり書きのワークシートから始め、習熟度に合わせたプリントにステップアップする。	
10	・自分のことや相手のことを表現しよう (be動詞“am、are”)	3	○“I am～”の文章を用いて、自分の名前や出身地を言えるようになる。 ○be動詞の使い分けをして、文章を作ったり、相手に質問したりすることができるようになる。 □“I am ～”や“Are you ～?”を用いた文章の作り方を学習する。(知識・技能) □“Are you～?”の定型文を用いて、相手と対話する。(思考・判断・表現)	・定型文として覚えることができるように、繰り返し練習を行う。ペアワーク等を用い、対話の機会を多く設定する。	
11		3			
12	・海外の文化	3	○海外の行事のビデオを見たり、歌を聴いたりすることで、海外の文化への理解を深める。 □冬の歌を聴いて日本語の歌との共通点や相違点を答える。(思考・判断・表現)□動画を見て気付いたことを発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・歌の速度を低倍速で再生するなどし、聞き取りやすくする。	
1	・他己紹介をしよう (be動詞“is”)	2	○be動詞isの使い方を知り、相手を紹介する文章を作り、他己紹介ポスターを作成することができる。 □“This is”を用いた文章構造について学ぶ。(知識・技能) □友達に質問をし、英語でやり取りをする。(思考・判断・表現) □作った文章の発音を練習し、発表の準備を行う。(主体的に学習に取り組む態度)	・相手のことを理解できるよう、相手に質問する時間を設ける。 ・発表の際に分からない単語には、読み方を書くよう促す。	
2		2			
3	・できることを発表しよう	4	○助動詞canの用法を知り、簡単な文章で表現できるようになる。 □canの用法について説明を聞き、理解する。(知識・技能) □canを用いて、できるようになったことを発表する。(思考・判断・表現)	・説明用のワークシートを準備する。 ・使用する動詞を限定し、理解しやすくする。	
備考		通年で天気・日付・簡単な挨拶などを授業のはじめに扱う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・6グループ		担当者名	○梶原 朝子
教科・領域名		外国語			
ね ら い		(1)アルファベットや英単語に触れ、外国語を使う上で必要な読み・書きの素地を養う。 (2)身近で簡単な英語を見聞きし、実生活でも表現したり、活用したりする。 (3)外国の文化に触れ、異なる言語や世界への関心を深め、違いを受容する姿勢を育てる。			
曜日・校時・時間		火曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		1年F組教室			
年間授業時数		33.0 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	・アルファベットに親しもう(大文字) ・身近な英単語	3	○アルファベットの大きな文字を正しく理解し、正しい語順に並べたり、書いたりできるようにする。 ○月や曜日・数字などの身近な単語について意味を覚えている。 □大文字の読み書きを練習する。(知識・技能) □基本的な単語の意味やスペルを学習する。(知識・技能)	・アルファベットカードを用いたゲームにより、楽しみながら学べるようにする。 ・アルファベット罫線を用いて書く練習を取り入れる。罫線のどこに合わせるか注目しながら書くよう伝える。 ・一時間に扱う文字数を少なく設定し、着実に学べるようにする。	
5		3			
6	・アルファベットに親しもう(小文字) ・身近な英単語	5	○アルファベットの小さな文字を正しく理解し、大文字との使い分けができるようになる。 ○食べ物や教科など、日常生活で使う単語を覚え活用できるようになる。 □小文字の読み書きを練習する。(知識・技能) □大文字と小文字の使い分けについて説明を聞き、演習に取り組む。(思考・判断・表現) □身近な単語の意味やスペルを学習する。(知識・技能)	・アルファベットカードを用いたゲームにより、楽しみながら学べるようにする。 ・アルファベット罫線を用いて書く練習を取り入れる。罫線のどこに合わせるか注目しながら書くよう伝える。似ている文字や書き方により違う文字になってしまう物が多いので、それらを重点的に指導する。	
7		2			
9	・世界の国	3	○アルファベットの大きな文字と小文字を使い分け、正しく国名を書く。世界の国名について知る。 □世界の国名の英語表現を知り、書く練習をする。(知識・技能) □国名が日本語と英語で同じか異なるか考える。(思考・判断・表現)	・なぞり書きのワークシートから始め、習熟度に合わせたプリントにステップアップする。	
10	・自分のことや相手のことを表現しよう (be動詞“am、are”)	3	○“I am～”の文章を用いて、自分の名前や出身地を言えるようになる。 ○be動詞の使い分けをして、文章を作ったり、相手に質問したりすることができるようになる。 □“I am ～”や“Are you ～?”を用いた文章の作り方を学習する。(知識・技能) □“Are you～?”の定型文を用いて、相手と対話する。(思考力・判断力・表現力)	・定型文として覚えることができるように、繰り返し練習を行う。ペアワーク等を用い、対話の機会を多く設定する。	
11		3			
12	・海外の文化	3	○海外の行事のビデオを見たり、歌を聴いたりすることで、海外の文化への理解を深める。 □冬の歌を聴いて日本語の歌との共通点や相違点を答える。(思考・判断・表現) □動画を見て気付いたことを発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・歌の速度を低倍速で再生するなどし、聞き取りやすくする。	
1	・他己紹介をしよう (be動詞“is”)	2	○be動詞isの使い方を知り、相手を紹介する文章を作り、他己紹介ポスターを作成することができる。 □“This is”を用いた文章構造について学ぶ。(知識・技能) □友達に質問をし、英語でやり取りをする。(思考・判断・表現) □作った文章の発音を練習し、発表の準備を行う。(主体的に学習に取り組む態度)	・相手のことを理解できるよう、相手に質問する時間を設ける。 ・発表の際に分からない単語には、読み方を書くよう促す。	
2		2			
3	・できることを発表しよう	4	○助動詞canの用法を知り、簡単な文章で表現できるようになる。 □canの用法について説明を聞き、理解する。(知識・技能) □canを用いて、できるようになったことを発表する。(思考・判断・表現)	・説明用のワークシートを準備する。 ・使用する動詞を限定し、理解しやすくする。	
備考		通年で天気・日付・簡単な挨拶などを授業のはじめに扱う。			